

# あなたの「？」におこたえします

「日本共産党綱領の話」より

自衛隊

海外の戦争で血を流させない

共産党作成の「あなたの『？』におこたえします 日本共産党綱領の話」が「わかりやすい」と好評です。10のテーマで共産党への疑問にズバリ答えています。今回は「自衛隊」を紹介します。



米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員

## 若者を「殺し、殺される」戦場に送らない

自衛隊の問題で、いまいちばん大事なことは、なくすかどうかではありません。災害復旧などで汗を流す隊員たちを、安保法制を

発動し、アメリカの戦争に派兵し、「殺し、殺される」戦場に送りこんでいいのかが、にあります。私たちは絶対反対です。

## 国民が「なくても安心」となるまでは存続

共産党は、いますぐ自衛隊をなくそうなどとは考えていません。将来、アジアが平和になり、国民の圧倒的多数が

「軍事力がなくても安心だ」と考えたときに、はじめて憲法9条の理想にむけて踏み出そうと提案しています。

「綱領リーフ」で取り上げているテーマは安保条約、安保法制、平和なアジア、自衛隊、天皇の制度、共産主義、中国、改革の進め方、野党共闘、政権合意。ぜひ実物をご覧ください。



## 自衛隊機が他国の領空に入り爆撃

## 「自衛の範囲」と岸防衛相が答弁

日本国憲法に真っ向から反する

志位委員長指摘

岸信夫防衛相は16日の衆院予算委員会分科会で、自衛隊機が他国の領域に入って軍事拠点爆撃することも自衛の範囲として「排除しない」と発言しました。共産党の志位和夫委員長は17日、“他国の領空に入って爆撃”は普通、戦争と言うと指摘。「憲法に真っ向から反する答弁を平然とやり出した」「非常に危険なところに来ている」として、「野党が結束して立ち向かうことを呼びかけたい」と述べました。

## 万が一、「急迫不正」の侵略をうけたら

自衛隊も含めて、あらゆる手段をもちいて命を守ります。国民の生存、

基本的人権、国の主権と独立を守るのは、政治の当然の責務だからです。

今年は党創立100年 共産党は今

今年7月で創立100年を迎えます。「民主主義の日本を」「侵略戦争反対」の主張を貫き、一つの名前で活動し

てきたことは大きな誇りです。思想信条の違いをこえ、一致点で力を合わせ、国民の多数の合意で改革を進めます。

「しんぶん赤旗」で詳しく



しんぶん赤旗・電子版

10代・20代対象 U30

1カ月無料 お試しキャンペーン

期間中 月3,497円が無料に

お申込み期間 2/12~6/30 ※1人1回まで